

ウラギンスジヒョウモン

Argyronome laodice japonica

兵庫県：Bランク

環境省：準絶滅危惧 (NT)

種の概要

前翅長28～37mm程度。翅の地色は橙色で、前後翅ともに黒斑を散布する。後翅裏面の基半部は緑黄色となり、中央付近に銀白色条がある。♀は前翅表面の翅頂に白色斑を有する。低山地から山地の林縁や湿地に生息し、幼虫はタチツボスミレ、フモトスミレなどを食べる。年1化性で、成虫は5月～6月に羽化し、夏季はほとんど活動せずに休眠し、秋季に再び出現する。アザミ類などの花によく集まる。



写真提供：近藤伸一

国内分布

北海道、本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、芦屋市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町、明石市、加古川市、西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町、姫路市、神河町、市川町、福崎町、相生市、赤穂市、宍粟市、上郡町、佐用町、豊岡市、養父市、香美町、新温泉町、丹波市、洲本市



選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
○	○	○	○		○

特記事項

CランクからBランクに変更

農地の畦畔や河川の土手の草地在が主な生息地で、県全域の旧39市町に記録があり、県内一円に広く分布していたものと考えられるが、ほとんどの生息地で1960～70年代に激減し、1990年代の記録は7市町に減少し、近年は加古川下流域のごく狭い区域に限って見られる。草刈りがされなくなり、食草の生育する草原の環境が少なくなったために減少した。

保護上の留意点

加古川市では環境の保全とチョウの保護に対する普及啓発を行っている